

「21世紀COEプログラム」に関するアンケート 集計結果(合計・表)

アンケート回答者	回答 (回答率)
委員	198件 (70.5%)
拠点リーダー	265件 (97.4%)
合計	463件 (83.6%)

大学設置区分	回答 (回答率)
国立	196件 (96.6%)
公立	9件 (100.0%)
私立	60件 (100.0%)
合計	265件 (97.4%)

採択された分野をお答えください。(拠点リーダーのみ)

採択分野	回答 (回答率)
A 【H14】生命科学	27件 (96.4%)
B 【H14】化学、材料科学	20件 (95.2%)
C 【H14】情報、電気、電子	20件 (100.0%)
D 【H14】人文科学	19件 (95.0%)
E 【H14】学際、複合、新領域	24件 (100.0%)
F 【H15】医学系	35件 (100.0%)
G 【H15】数学、物理学、地球科学	22件 (95.7%)
H 【H15】機械、土木、建築、その他工学	23件 (100.0%)
I 【H15】社会科学	23件 (92.0%)
J 【H15】学際、複合、新領域	25件 (100.0%)
K 【H16】革新的な学術分野	27件 (96.4%)
合計	265件 (97.4%)

1. 21世紀COEプログラム事業について(これまでの拠点運営状況を踏まえて)

1. (1) 事業の意義について 我が国全体の教育研究環境の活性化に果たした役割

	合計	委員	拠点リーダー
1 非常に役立っている	243件 (52.5%)	59件 (29.8%)	184件 (69.4%)
2 役立っている	201件 (43.4%)	123件 (62.1%)	78件 (29.4%)
3 あまり役立っていない	7件 (1.5%)	6件 (3.0%)	1件 (0.4%)
4 全く役立っていない	1件 (0.2%)	1件 (0.5%)	0件 (0.0%)
5 どちらともいえない	11件 (2.4%)	9件 (4.6%)	2件 (0.8%)
無回答	0件 (0.0%)	0件 (0.0%)	0件 (0.0%)

1. (2)①-1 申請等のための学内における検討が、組織の活性化に果たした役割

	合計	委員	拠点リーダー
1 非常に役立った	227件 (49.0%)	59件 (29.8%)	168件 (63.4%)
2 役立った	210件 (45.4%)	119件 (60.1%)	91件 (34.3%)
3 あまり役立たなかった	11件 (2.4%)	7件 (3.5%)	4件 (1.5%)
4 全く役立たなかった	0件 (0.0%)	0件 (0.0%)	0件 (0.0%)
5 どちらともいえない	9件 (1.9%)	7件 (3.5%)	2件 (0.8%)
無回答	6件 (1.3%)	6件 (3.1%)	0件 (0.0%)

1. (2)①-2 申請のプロセスを通じての具体的な効果

	合計	委員	拠点リーダー
1) 学内での競争的環境の醸成	233件 (50.3%)	92件 (46.5%)	141件 (53.2%)
2) 所属部局・講座等以外の組織の研究教育活動状況、課題等の把握	282件 (60.9%)	102件 (51.5%)	180件 (67.9%)
3) 拠点における目的の明示と構成員間での共有化の推進	325件 (70.2%)	114件 (57.6%)	211件 (79.6%)
4) データ等の収集・蓄積などの組織的体制の整備	142件 (30.7%)	34件 (17.2%)	108件 (40.8%)
5) 教員相互の研究情報のオープン化、共有化	242件 (52.3%)	80件 (40.4%)	162件 (61.1%)
6) その他	80件 (17.3%)	37件 (18.7%)	43件 (16.2%)

1. (2)②-1 採択されたことが、組織(大学等)の活性化へ果たした役割

	合計	委員	拠点リーダー
1 非常に役立った	205件 (44.3%)	47件 (23.7%)	158件 (59.6%)
2 役立った	221件 (47.7%)	123件 (62.1%)	98件 (37.0%)
3 あまり役立っていない	15件 (3.2%)	8件 (4.0%)	7件 (2.6%)
4 全く役立っていない	0件 (0.0%)	0件 (0.0%)	0件 (0.0%)
5 どちらともいえない	13件 (2.8%)	11件 (5.6%)	2件 (0.8%)
無回答	9件 (2.0%)	9件 (4.6%)	0件 (0.0%)

「21世紀COEプログラム」に関するアンケート 集計結果(合計・表)

1. (2)②-2 学内の組織的運営マネジメント面における具体的な効果

	合計	委員	拠点リーダー
1) 学長のリーダーシップの強化	119件 (25.7%)	51件 (25.8%)	68件 (25.7%)
2) 学内の組織を超えた実質的な協力・連携体制の構築	315件 (68.0%)	110件 (55.6%)	205件 (77.4%)
3) 今後の学内組織の改編等の具体的計画の検討・策定	218件 (47.1%)	74件 (37.4%)	144件 (54.3%)
4) 目的の共有化による各構成員の研究教育活動の取組への意識の改革	318件 (68.7%)	116件 (58.6%)	202件 (76.2%)
5) 拠点リーダーのリーダーシップの強化	141件 (30.5%)	51件 (25.8%)	90件 (34.0%)
6) 学内環境の整備(組織改編、部局の整備などを含む)	182件 (39.3%)	52件 (26.3%)	130件 (49.1%)
7) 人的・物的な学内資源の重点配分	166件 (35.9%)	54件 (27.3%)	112件 (42.3%)
8) その他	52件 (11.2%)	17件 (8.6%)	35件 (13.2%)

1. (2)③-1 採択されたことによる世界水準の拠点形成の推進

	合計	委員	拠点リーダー
1 非常に進んでいる	113件 (24.4%)	7件 (3.5%)	106件 (40.0%)
2 進んでいる	291件 (62.9%)	133件 (67.2%)	158件 (59.6%)
3 あまり進んでいない	34件 (7.3%)	34件 (17.2%)	0件 (0.0%)
4 全く進んでいない	1件 (0.2%)	1件 (0.5%)	0件 (0.0%)
5 どちらともいえない	17件 (3.7%)	16件 (8.1%)	1件 (0.4%)
無回答	7件 (1.5%)	7件 (3.5%)	0件 (0.0%)

1. (2)③-2-1「人材養成面」大学院学生を中心とした人材養成面における具体的な効果・成果

	合計	委員	拠点リーダー
1) 学生募集への波及効果	151件 (32.6%)	48件 (24.2%)	103件 (38.9%)
2) 学位授与率の向上	74件 (16.0%)	22件 (11.1%)	52件 (19.6%)
3) 学修・研究環境の向上	291件 (62.9%)	81件 (40.9%)	210件 (79.2%)
4) 経済支援(リサーチ・アシスタントなど)の充実	352件 (76.0%)	120件 (60.6%)	232件 (87.5%)
5) 学生の流動性の向上(学部・博士課程(前期)学生への波及効果・活性化等を含む)	108件 (23.3%)	31件 (15.7%)	77件 (29.1%)
6) ファカルティ・ディベロップメント等の組織的教育体制の推進	72件 (15.6%)	21件 (10.6%)	51件 (19.2%)
7) 体系的なカリキュラムの改善・充実	121件 (26.1%)	25件 (12.6%)	96件 (36.2%)
8) 学生の研究活動・水準(学会発表・論文発表数)の向上	286件 (61.8%)	79件 (39.9%)	207件 (78.1%)
9) キャリアパス形成への効果	73件 (15.8%)	13件 (6.6%)	60件 (22.6%)
10) 国際化の推進・向上	287件 (62.0%)	70件 (35.4%)	217件 (81.9%)
11) その他	50件 (10.8%)	12件 (6.1%)	38件 (14.3%)

1. (2)③-2-2「教員の研究活動面」教員の研究活動面における具体的な効果・成果

	合計	委員	拠点リーダー
1) 研究成果(被引用論文数、著書・論文数、国内外の学会発表等)の質的・量的向上	269件 (58.1%)	81件 (40.9%)	188件 (70.9%)
2) 外部資金獲得への波及効果	205件 (44.3%)	57件 (28.8%)	148件 (55.8%)
3) 学内プロジェクトの推進	208件 (44.9%)	72件 (36.4%)	136件 (51.3%)
4) 共同研究、研究プロジェクトの推進(国内外の大学・研究機関・企業等)	311件 (67.2%)	94件 (47.5%)	217件 (81.9%)
5) 教員の流動性の向上(海外を含む)	75件 (16.2%)	20件 (10.1%)	55件 (20.8%)
6) 若手教員(ポスドク等を含む)の研究環境の向上	331件 (71.5%)	110件 (55.6%)	221件 (83.4%)
7) その他	46件 (9.9%)	16件 (8.1%)	30件 (11.3%)

1. (3)① 採択拠点数について

	合計	委員	拠点リーダー
1 非常に多い	15件 (3.2%)	10件 (5.0%)	5件 (1.9%)
2 多い	122件 (26.4%)	57件 (28.8%)	65件 (24.5%)
3 適当である	278件 (60.0%)	97件 (49.0%)	181件 (68.3%)
4 少ない	37件 (8.0%)	23件 (11.7%)	14件 (5.3%)
5 非常に少ない	1件 (0.2%)	1件 (0.5%)	0件 (0.0%)
無回答	10件 (2.2%)	10件 (5.0%)	0件 (0.0%)

「21世紀COEプログラム」に関するアンケート 集計結果(合計・表)

1. (3)② 5年間の事業期間について

	合計	委員	拠点リーダー
1 長い	7件 (1.5%)	6件 (3.0%)	1件 (0.4%)
2 適当である	291件 (62.9%)	135件 (68.2%)	156件 (58.9%)
3 短い	100件 (21.6%)	27件 (13.7%)	73件 (27.5%)
4 その他	59件 (12.7%)	24件 (12.1%)	35件 (13.2%)
無回答	6件 (1.3%)	6件 (3.0%)	0件 (0.0%)

1. (4)①採択分野における適当な補助金額について(拠点リーダーのみ)

	拠点リーダー
1 5000万円以下	3件 (1.1%)
2 5000万円～2億円	101件 (38.1%)
3 2億円～5億円	125件 (47.2%)
4 5億円以上	22件 (8.3%)
5 その他	14件 (5.3%)
無回答	0件 (0.0%)

1. (5): 拠点リーダー《(4): 委員》世界的水準の研究教育拠点の形成のために制度上必要な点

	合計	委員	拠点リーダー
1) 国内機関(大学・研究機関等)との連携による研究教育拠点の形成	271件 (58.5%)	100件 (50.5%)	171件 (64.5%)
2) 国外機関、研究者、学生との連携による研究教育拠点の形成	309件 (66.7%)	111件 (56.1%)	198件 (74.7%)
3) 博士課程在学者(博士課程(前期)の学生を含む)への経済的支援の拡充	333件 (71.9%)	111件 (56.1%)	222件 (83.8%)
4) 外国人研究者の活躍促進(制度的・財政的な面を含む)	195件 (42.1%)	70件 (35.4%)	125件 (47.2%)
5) 若手研究者の自立支援(制度的・財政的な面を含む)	300件 (64.8%)	109件 (55.1%)	191件 (72.1%)
6) 女性研究者の活躍促進(制度的・財政的な面を含む)	126件 (27.2%)	63件 (31.8%)	63件 (23.8%)
7) その他	69件 (14.9%)	40件 (20.2%)	29件 (10.9%)

2. 審査について(採択時の審査の状況を踏まえてお答えください。)

2. (1)① 公募する際の方針の設定について

	合計	委員	拠点リーダー
1 より細分化すべきである	65件 (14.0%)	26件 (13.1%)	39件 (14.7%)
2 適切である	328件 (70.8%)	132件 (66.7%)	196件 (74.0%)
3 より大括りにすべきである	24件 (5.2%)	14件 (7.1%)	10件 (3.8%)
4 その他	41件 (8.9%)	21件 (10.6%)	20件 (7.5%)
無回答	5件 (1.1%)	5件 (2.5%)	0件 (0.0%)

2. (1)② 公募の対象について

	合計	委員	拠点リーダー
1 適切である	389件 (84.0%)	153件 (77.3%)	236件 (89.1%)
2 改善すべきである	66件 (14.3%)	37件 (18.7%)	29件 (10.9%)
無回答	8件 (1.7%)	8件 (4.0%)	0件 (0.0%)

2. (1)③ 部会の委員構成(委員数、専門性、国公立大学・研究所等のバランス)について

	合計	委員	拠点リーダー
1 適切である	59件 (12.8%)	23件 (11.6%)	36件 (13.6%)
2 概ね適切である	312件 (67.4%)	133件 (67.2%)	179件 (67.5%)
3 あまり適切でない	58件 (12.5%)	26件 (13.1%)	32件 (12.1%)
4 適切でない	2件 (0.4%)	1件 (0.5%)	1件 (0.4%)
5 どちらともいえない	26件 (5.6%)	9件 (4.6%)	17件 (6.4%)
無回答	6件 (1.3%)	6件 (3.0%)	0件 (0.0%)

2. (1)④ 委員、専門委員、ペーパーレフェリーの審査の実施方法等に関する共通理解・連携(委員のみ)

	委員
1 図られていた	21件 (10.6%)
2 概ね図られていた	115件 (58.1%)
3 やや不足していた	37件 (18.7%)
4 不足していた	10件 (5.1%)
5 どちらともいえない	7件 (3.5%)
無回答	8件 (4.0%)

「21世紀COEプログラム」に関するアンケート 集計結果(合計・表)

2. (1)④: 拠点リーダー《⑤: 委員》申請《審査》に際しての負担(申請書類/審査結果表の作成、作業期間等)

	合計	委員	拠点リーダー
1 非常に負担が軽かった	1件 (0.2%)	1件 (0.5%)	0件 (0.0%)
2 負担が軽かった	6件 (1.3%)	5件 (2.5%)	1件 (0.4%)
3 適当である	182件 (39.3%)	79件 (39.9%)	103件 (38.9%)
4 負担が重かった	217件 (46.9%)	93件 (47.0%)	124件 (46.8%)
5 非常に負担が重かった	50件 (10.8%)	13件 (6.6%)	37件 (13.9%)
無回答	7件 (1.5%)	7件 (3.5%)	0件 (0.0%)

2. (2)①-1: 申請あたりのペーパーレフェリーの数(2~3名程度)について(委員のみの設問)

	委員
1 多い	2件 (1.0%)
2 適当である	155件 (78.3%)
3 少ない	36件 (18.2%)
無回答	5件 (2.5%)

2. (2)①-1: 拠点リーダー《①-2: 委員》 書面審査における審査項目について

	合計	委員	拠点リーダー
1 適切である	67件 (14.5%)	8件 (4.0%)	59件 (22.3%)
2 概ね適切である	353件 (76.2%)	160件 (80.8%)	193件 (72.8%)
3 あまり適切でない	16件 (3.5%)	13件 (6.6%)	3件 (1.1%)
4 適切でない	2件 (0.4%)	1件 (0.5%)	1件 (0.4%)
5 どちらともいえない	15件 (3.2%)	6件 (3.0%)	9件 (3.4%)
無回答	10件 (2.2%)	10件 (5.1%)	0件 (0.0%)

2. (2)①-2: 拠点リーダー《①-3: 委員》・書面における審査の観点について

	合計	委員	拠点リーダー
1 適切である	70件 (15.1%)	16件 (8.1%)	54件 (20.4%)
2 概ね適切である	335件 (72.4%)	146件 (73.8%)	189件 (71.3%)
3 あまり適切でない	34件 (7.3%)	22件 (11.1%)	12件 (4.5%)
4 適切でない	4件 (0.9%)	3件 (1.5%)	1件 (0.4%)
5 どちらともいえない	14件 (3.0%)	5件 (2.5%)	9件 (3.4%)
無回答	6件 (1.3%)	6件 (3.0%)	0件 (0.0%)

2. (2)①-4: 計画調書における研究教育活動に係るデータ等の有効性(委員のみ)

	委員
1 非常に有効であった	17件 (8.6%)
2 有効であった	136件 (68.7%)
3 あまり有効でなかった	24件 (12.1%)
4 有効でなかった	6件 (3.0%)
5 どちらともいえない	10件 (5.1%)
無回答	5件 (2.5%)

2. (2)②-1: ヒアリングにおける審査体制(人数、専門性等)及び実施方法(説明時間、スケジュール等)

	合計	委員	拠点リーダー
1 適切である	78件 (16.8%)	32件 (16.2%)	46件 (17.3%)
2 概ね適切である	295件 (63.7%)	126件 (63.7%)	169件 (63.8%)
3 あまり適切でない	61件 (13.2%)	25件 (12.6%)	36件 (13.6%)
4 適切でない	6件 (1.3%)	2件 (1.0%)	4件 (1.5%)
5 どちらともいえない	17件 (3.7%)	7件 (3.5%)	10件 (3.8%)
無回答	6件 (1.3%)	6件 (3.0%)	0件 (0.0%)

2. (2)②-2: ヒアリングにおける審査項目(説明事項内容等)

	合計	委員	拠点リーダー
1 適切である	78件 (16.9%)	25件 (12.6%)	53件 (20.0%)
2 概ね適切である	331件 (71.5%)	149件 (75.3%)	182件 (68.7%)
3 あまり適切でない	27件 (5.8%)	10件 (5.1%)	17件 (6.4%)
4 適切でない	4件 (0.9%)	0件 (0.0%)	4件 (1.5%)
5 どちらともいえない	15件 (3.2%)	6件 (3.0%)	9件 (3.4%)
無回答	8件 (1.7%)	8件 (4.0%)	0件 (0.0%)

「21世紀COEプログラム」に関するアンケート 集計結果(合計・表)

2. (2)②-3・ヒアリングにおける審査の観点(審査基準等)

	合計	委員	拠点リーダー
1 適切である	76件 (16.4%)	24件 (12.1%)	52件 (19.6%)
2 概ね適切である	305件 (65.9%)	136件 (68.7%)	169件 (63.8%)
3 あまり適切でない	47件 (10.2%)	19件 (9.6%)	28件 (10.6%)
4 適切でない	7件 (1.5%)	1件 (0.5%)	6件 (2.2%)
5 どちらともいえない	20件 (4.3%)	10件 (5.1%)	10件 (3.8%)
無回答	8件 (1.7%)	8件 (4.0%)	0件 (0.0%)

3. 審査結果等の活用・情報発信の効果

3. (1)① 審査結果等の公表方法、内容について

	合計	委員	拠点リーダー
1 適切である	133件 (28.7%)	42件 (21.2%)	91件 (34.3%)
2 概ね適切である	296件 (63.9%)	136件 (68.6%)	160件 (60.4%)
3 あまり適切でない	14件 (3.0%)	9件 (4.6%)	5件 (1.9%)
4 適切でない	2件 (0.5%)	2件 (1.0%)	0件 (0.0%)
5 どちらともいえない	18件 (3.9%)	9件 (4.6%)	9件 (3.4%)
無回答	0件 (0.0%)	0件 (0.0%)	0件 (0.0%)

3. (1)②-1 審査結果等の公表による社会的効果

	合計	委員	拠点リーダー
1 非常に効果があった	97件 (20.9%)	23件 (11.6%)	74件 (27.9%)
2 効果があった	280件 (60.5%)	123件 (62.2%)	157件 (59.2%)
3 あまり効果がなかった	42件 (9.1%)	22件 (11.1%)	20件 (7.6%)
4 効果がなかった	5件 (1.1%)	3件 (1.5%)	2件 (0.8%)
5 どちらともいえない	36件 (7.8%)	24件 (12.1%)	12件 (4.5%)
無回答	3件 (0.6%)	3件 (1.5%)	0件 (0.0%)

3. (1)②-2 審査結果等の公表による具体的な社会的効果

	合計	委員	拠点リーダー
1) 大学の研究教育活動の状況を広く国民全体に理解を求める上で有効であった	296件 (63.9%)	106件 (53.5%)	190件 (71.7%)
2) 学生(志願者を含む)等への理解増進に有効であった	179件 (38.7%)	45件 (22.7%)	134件 (50.6%)
3) 企業、研究機関への理解増進に有効であった	145件 (31.3%)	35件 (17.7%)	110件 (41.5%)
4) 学内での研究教育活動の周知、主体的な改善の促進に有効であった	253件 (54.6%)	84件 (42.4%)	169件 (63.8%)
5) その他	42件 (9.1%)	22件 (11.1%)	20件 (7.5%)

3. (2) 審査結果等のマスメディアにおける取扱いについて

	合計	委員	拠点リーダー
1 適切である	58件 (12.5%)	17件 (8.6%)	41件 (15.5%)
2 概ね適切である	276件 (59.6%)	106件 (53.5%)	170件 (64.1%)
3 あまり適切でない	82件 (17.7%)	50件 (25.3%)	32件 (12.1%)
4 適切でない	9件 (2.0%)	5件 (2.5%)	4件 (1.5%)
5 どちらともいえない	37件 (8.0%)	19件 (9.6%)	18件 (6.8%)
無回答	1件 (0.2%)	1件 (0.5%)	0件 (0.0%)